

事ここを少なくするために

「あっちから行くよ。」

「えー、めんどうくさい！」

学校からの帰り道、わたしはいつもいやがる妹を連れて、横だん歩道まで遠回りをして歩いて帰ります。なぜかという、近道だとあぶないからです。その道は駅前であつて、ロータリーとつながっているの、車が多いのです。また、ロータリーの向かいがわにはスーパー、出てすぐ右にはふみ切りがあります。そのため、じゆうたいしていることもたくさんあります。大人や高校生、小中学生も車と車の間を通りぬけてわたっています。時々急ブレーキをかける車がいったり、クラクションを鳴らす車もいたり。

遠回りは、わたしの足で歩くと一分から一分半ぐらいかかります。せつかくそこまで歩いたのに、その横だん歩道には信号がありません。いつまで待っても車が止まってくれないこともあります。そうすると、近道をするよりもっと時間がかかり、そんな時はわたしも近道をしたいと思つて

しまう時があります。

全国で、色々なタイプの交通事ここが多くあります。その中でも、車と車のすき間から人が飛び出してきて、ぶつかる事ここも多いそうです。すき間から出てくる人は、運転手からするととても見えにくいのです。また、じゆうたいしていない車線の車はふ通のスピードで走っているので、すき間から人が出てきてもすぐには止まれません。

少しの楽をして近道をすれば、交通事ここが起きるかもしれません。交通事ここが起きると、運転手やぶつかった人、その人達の家族や友達までもが悲しくなります。生活が一気に変わってしまうかもしれません。たった少しの楽をすれば…。

だから、めんどうくさがらず、安全な道を通り、事ここが少しでもへるといいなと思います。いつまでも笑顔あふれる日本でありますように。